

学会参加報告書

日本材料学会 第72期学術講演会

慶應義塾大学大学院 理工学研究科
小茂鳥研究室 修士1年 青木 智史

私は、2023年5月28日~30日につくば国際会議場で開催された、日本材料学会第72期学術講演会に参加し、研究発表を行いました。本学会では、金属材料に限らず各種材料の開発、改質および特性の評価・検討に関して、材料学の基礎から応用まで幅広い分野の研究発表が行われました。本学会はZoomを使用したハイブリッド型での開催であったにもかかわらず、北海道から九州まで、日本全国の研究者や学生が現地で参加しました。

今回、私は、オーガナイズドセッション1「疲労現象とその支配要因」に参加し、「引張負荷中に変化する圧縮残留応力のX線応力その場測定による検討」の題で発表を行いました。人前で自らの研究成果を発表することは、研究室ミーティングや卒業研究審査会などで経験していましたが、自分の研究と同分野を専門とする大勢の先生方の前で発表するのは初めてであり、緊張しました。

発表後には、3名の先生からご質問をいただくことができました。いずれの質問も、今後研究を進めていくうえで重要な事柄や着眼点であったため、非常に有意義な時間となりました。また、自分と同じく疲労に関する研究に取り組んでいる他の研究者や学生の方々の発表から、自らの研究にフィードバックできる点も見つけることができ、良い経験となりました。最後に、今回の発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生、また、発表練習から現地での発表までサポートしていただいた武末先生、本研究室博士課程の羽山さんに御礼申し上げます。



学会の会場（つくば国際会議場）



会場にて小茂鳥先生、武末先生、羽山さんと